



音楽機器の海外発送

Copyright(C) 2017 Keisuke All Rights Reserved

Lists –音楽機器の海外発送

1

音楽機器の海外発送

[P3](#)

2

発送方法と禁制品

[P4](#)

3

発送方法のまとめ

[P8](#)



1 -音楽機器の海外発送

2016年からスピーカーが海外発送の禁制品になりました。

なのであなたも音楽機器への苦手意識があるかもしれません。

今回は宛先をアメリカにして、日本郵便や税関で調べてみました。

確認すると「音楽機器」全てが禁制品ではありませんでしたので

代表的なものを製品別に紹介していきますね。



2 -発送方法と禁制品

1

アンプ

アンプは磁力が含まれていないものなら発送できるとのことでした。

調べてみると最近の商品であれば磁力が含まれていない物が主流ですが
10年以上前に製造された商品は
磁力が含まれてるアンプも多く存在するようです。

磁力の確認

【経済産業省 輸出貿易管理】という部署に確認したところ
「アンプの製造メーカーに問い合わせ
「輸出令の別表第一に該当しますか？と聞けば分かるはず」ということでした。

質問の結果、問題ないことが確認できたら
発送の際に念のため送り状に『磁力は含まれない』と書いておくと
税関などもスムーズに通過できるのでより良いですね。

2 -発送方法と禁制品

2

ヘッドホン

ヘッドホンは問題なく発送できます。

最新のヘッドフォンにリチウムイオンバッテリーが
使用されているタイプの商品でも
基本的には全て組み込まれているので発送は可能です。

ヘッドフォンについては何も気にする必要はなさそうですね。



2 - 発送方法と禁制品

3 スピーカー

スピーカーは日本郵便の禁制品に含まれているので発送はできません。
たまにスルーされることもあるようですが
基本的には発送不可です。

しかし、日本郵便で発送ができないスピーカーも
FedExとDHLを利用すれば送ることができます。※2017年現在

送料は比べるとDHLよりFedExの方が安いです。
FedExと法人契約していて
より安く送れるモールテール等を利用すると良いでしょう。

【モールテール】

http://jp.malltail.com/jp_wp/import/

↓ 各発送会社の比較動画 ↓

https://youtu.be/eMr2pS_XV1c

2 - 発送方法と禁制品

4

ローズウッド

ローズウッドとはスピーカーやギターに使われる木材で最近ワシントン条約で規制のかかったものです。

発送には許可証の作成やメーカーから資料を取り寄せたりが必要で個人で手続きを進めることは、ほぼ不可能です。

基本的にローズウッドの含まれるものは扱わない方が無難ですね。



3 -発送方法のまとめ

5

発送方法と注意点

- ヘッドフォン:日本郵便で発送
- アンプ:「磁力を含まない」と記載して
日本郵便で発送（不安な商品はメーカーへ確認）
- スピーカー:モールテールや日本郵便以外の代行会社を利用して発送
- ローズウッド:現時点では扱うことはほぼ不可能

発送方法が心配な商品は日本郵便に電話で確認する癖をつけましょう。

日本郵便で発送できない商品であれば、その他の発送会社に問い合わせをして「本当に発送ができないのか」確認しましょう。

発送が難しい商品ほど参入障壁も高くなるので、自分だけの発送方法を見つけられればライバルも少なく利益も取りやすくなります。